

## 2022 年度 第 1 回教育委員会議事録

日 時 2022 年 4 月 27 日(水) 10:30～17:00

会 場 日本代協 会議室(ハイブリッド開催)

出席者 石川委員長 R

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
北海道	伊藤	北東北	藤本	南東北	赤城	上信越	古瀬
東関東	井上	南関東	丹野	東京	雨宮	東海	八木
北陸	中村	近畿	谷口	阪神	山本	東中国	藤原
西中国	近藤	四国	渡部	九州北	甲山	九州南	徳丸

事務局：小田島副会長、小見常務、坂

### 〔配付資料〕

- 4-1 日本代協 2021 年度事業報告、2022 年度事業計画、ブロック協議会運営ガイド抜粋
- 4-2 2021 年度第 8 回理事会議事録（サマライズ版）
- 4-3 2021 年度「目指せ、三冠王！」速報、2022 年度「目指せ、三冠王！」目標確認
- 5-1-1 0218 合同運営会議議事メモ
- 5-1-2 損保トータルプランナー認定状況、損保トータルプランナーがいる店登録状況
- 5-1-3 損保トータルプランナー認定バッジ購入状況、団体注文フローの改定
- 5-2 コンサル Web セミナー運営（受講ガイド、2022 年度 1 回目日程、地域別受講者数、課題共有）
- 5-3 参考：2021 年度コンサル教材（下期）作成スケジュール案
- 6-1-1 アカデミー\_集計レポート-（2021 年度末集計）
- 6-1-2 アカデミー 2022 年度目標（ID 数・代理店数）
- 6-2-1 アカデミー\_改定 e ラーニング企画
- 6-2-2 アカデミー\_充実化計画
- 6-3 アカデミー各社コンプラ研修比較表
- 6-4 金融庁公的保険ポータルサイト
- 6-5 募集人教育サイト（損保協会）
- 7- その他

---

### 議 事

(進行) 石川委員長 (書記) 伊藤委員

1 , 議事録作成者指名、出席者の確認

石川委員長、教育委員 16 名(R8 名 W8 名)、小田島副会長

事務局：小見常務、坂部長

4月に着任した坂部長から新任挨拶があった。

## 2, 石川委員長挨拶

任期2年の中でようやく最後の委員会がハイブリッドでの開催となり嬉しく思う。密を避ける意味でも、バランスよくリアルとweb半々の参加となった。各委員の入れ替えもあり最後となるので、今後の教育委員会の運営について忌憚なく全員で意見交換して頂きたい。

## 3, 小田島副会長挨拶

教育委員の役割を果たして頂き、特にダイレクトを通じ日頃の各委員同士の実務的な情報共有やアイデアの交換、責任ある取組に接し、教育委員会には大変感謝している。石川委員長の諮問事項に対する答申も確認した。2年間の中での課題や次年度への引継ぎもあるので今日はじっくり話し合って頂きたい。

## 4, 2021年度事業報告、2022年度事業計画（石川委員長）

資料を一読して頂きたい。特筆すべきポイントとして事業計画の中の、.2.(1) 大学課程のセミナー運営に当たっては教育委員会任せとせず組織全体で対応する。(2) C、Dコンサルティングコース受講生の募集推進にあたり、保険会社に対して代理店内の認定者率・実数の要件化・水準引き上げや教育研修計画への織り込みを要望し続け、直資代理店は必須取組として要請する。

2022年度教育委員会への諮問事項は、日本代協アカデミーの展開 大学課程の運営・検証・改善の2点に絞られた。

2021年度諮問事項に対する答申(案)の報告について、1.日本代協アカデミーの展開 2.大学課程の運営・検証・改善 3.トータルプランナーの魅力度向上、それぞれの今後の方向性を掘り下げて説明し理解を深めた。最後に委員長所感について全員で共有した。

## 5, 「損害保険大学課程」の運営（雨宮副委員長）

### (1) 全般

2月18日開催の合同運営会議メモ(TP認定授与式の開催等)、大学課程各コースの認定状況(写真付き認定証)等、認定バッジ(団体注文)について資料を基に説明。

### (2) Webセミナー実施状況(2022年度受講生)

ながら受講防止や円滑な運営のため、Webセミナーにより丁寧に改善された新2022年度受講ガイド、第1回目セミナー日程(科目の変更も含む)について説明。

またセミナー運営の今後の課題として、

効果的かつ円滑な運営のため、離陸時のインソース社スタッフ2名に増員、科目順

を変更入れ替し「落ち」防止、インソース担当者とのダイレクト連携、受講生の質疑応答対応。

運営スタッフの謝礼対策として、日当増額の検討、スタッフの負荷軽減、スタッフ不足の解決策で教育委員以外の組織全体参画で指定教育機関としての対応・協力(教育委員の業務への理解)等。

Agrex 教育事務センターのロード削減。

それぞれの課題について対策と解説があった。

### (3)テキスト改定

科目 3 の動画について、約 12 年前作成のままで陳腐化。1 年かけて改定予定である。

2022 年度科目 4.5 教材、2023 年度教材制作スケジュールについて説明。

### (4)発足から 10 年経った教育プログラムの今後の方向性

資格制度も 10 年経過し、次の魅力的かつ合理的な制度を損保協会と連携しながら検討しなければならない時期に来ている。認定保険代理士の運営において一日の長がある日本代協が具体的に率先し取り組んでいきたい。

## 6、「日本代協アカデミー」の展開

### (1)登録 ID 登録代理店数の共有、2022 年度目標値 (中村 PT リーダー)

満 3 年を迎え、日企社から企画案の提案を受けた。利用者単価の不公平感正のため新料金案、決済方法が郵便振替・銀行振込にクレジットカード払いが追加、情報コンテンツと学習コンテンツの操作性を統合、確認テストの定期更新、ポータルサイトの導入等々リニューアルに伴い新旧変更点も整理されかなり改善されそう。

2021 年度 ID 登録純増目標 1,882 に対し 230(達成率 12.2%)という非常に残念な結果だった。10 月のリニューアルに期待したい。

2022 年度目標について、目標案 1,2,3 を用意し各委員に意見を諮った。結果、多数決により目標純増数値は会員数・ID 数共に 3 %を教育委員会としての決議事項とした。

<小田島副会長より>

各ブロック協議会・代協の活動において、ただ数字を掲げ比べるのではなく、目標値 3 %に至ったプロセスと根拠、何よりも教育委員会のこの熱と想いを込めて伝えていく必要性を感じる。

<石川委員長より>

本質を伝えるためには目標設定に対して矛盾はあるが、アカデミー創設の原点に戻ると会員の資質の向上に始まり、学ぶ風土を作る継続的に学ぶことが不可欠だ。教育委員が代理店訪問するなど一人一人一店一店に寄り添う伝え方、確実に地道に丁寧に情宣していく姿勢で実践していこう。

## (2)コンテンツ作成 (丹野 PT リーダー)

各損保会社 5 社のコンプライアンス講座一覧を提示。追加で残る 6 社の追加を模索中。今年度から新コンテンツ作成の予算が付いたので、積極的に取り組みたい。旬なテーマ「公的保険について」を手始めに考えているので委員からの情報を集約したい。

丹野リーダーから損保ジャパンの Ace Academy の紹介もあり、各委員から「公的保険について」持ち合わせている情報を発表。絡めて他にも企業型 DC、積立 NISA、iDeCo やサイバーセキュリティ対策、労務問題もコンテンツ候補として上がった。

## (3)上記以外 (石川委員長)

10 月からリニューアル、9 月末までは従来のシステム。コンプラ研修は引き続き毎月リリースし、2022 年度は年間予算組を頂いたので早速ブレインマークス社へコンテンツ制作を依頼していく。船井総研については前回のスポット企画の内容や費用対効果を鑑みてペンディングとする。コンテンツの新しいシステムへの移行は問題無し。公的保険については、既に各省庁の情報やセミナー等でコンテンツ的には結構出回っているので、アカデミーでは学習コンテンツ的に活用してエビデンスを残す仕組みがコストの面からも実践的かと思う。

10 月 1 日からのリニューアルに伴い、業者選定も PT の再編も急務。6 月 10 日新教育委員も集合しオリエンテーション、6 月 29 日第 2 回教育委員会を開催。

ブレインマークスは 5 月中旬に坂部長と共に具体的に折衝し、6 月 10 日には内容を案内する予定。スケジュールが非常にタイトなので交替する委員は新委員へしっかりとレクチャーと引継ぎを宜しく頼みたい。

## 7、その他情報提供 (事務局 小見常務)

(1)損保協会の募集人教育サイトが 3 月 22 日開示。コンプラ、セキュリティ、気候変動について動画で配信。現在履歴は一切残らないシステムだが、将来的には展開が気になる。

(2)明日 4 月 28 日、金融庁池田課長が来所。日本代協理事役員並びに各都道府県代協会長と Zoom での意見交換会を実施。

(3)Emotet の被害が出ている。サイバー対策、特に変な zip ファイル怪しい添付ファイルは開かないよう細心の注意をお願いしたい。

(4)特定修理業者について日本代協として 50 社ほどリストアップしているが実態は 800 社以上。各保険会社や警察庁とも連携しながら情報共有している。過去の地震被害写真を利用して再請求するなど手口が多岐に渡り巧妙化している。鑑定協会とも情報交換しながら対策を練っている。

(5)公的保険について監督指針(ガイドライン)も変わり、保険会社の対応もまだ明確ではないが、当局が用意した資料を添付した。社会的背景を理解し会員のレベルアップが望まれる。

## 8、退任委員挨拶

今回が最後の委員会出席となる各委員から退任の挨拶があった。

< 講評：小田島副会長 >

2年間共に戦ってきた仲間と本音で思う存分語り合えたのではないか。引き続き残る方も、また新しい役職で職責を果たす方も教育委員会として代理店の資質の向上のため教育事業を推進していく役割を担っている。その使命感を社業や経営にも活かしながら熱い気持ちで前進して行こう。活動する地域は別々でも、心は繋がっている分かりあっている思いで共に頑張りよう。2年間本当にお疲れ様でした。

〔次回開催〕

オリエンテーション 6月10日(金) 10:30～17:00

第2回委員会 6月29日(水) 10:30～17:00